

にっせき ぬくもり通信

vol. 62
2020 October

人道、博愛、奉仕の赤十字精神に基づき、医療を通じて、地域社会に貢献します。

急性期病院の利点を
活かした人間ドック



① 〈診療科紹介〉

健診部

健康は、自分の体を知ることから。

② 〈患者会紹介〉

志らさぎ会

③ ロコトレ

④ 〈連携病院〉

松山西病院

⑤ インフォメーション&
ニュース

⑥ 外来診療担当医表

健康は、自分の体を知ることから。



Profile

松山赤十字病院
健診部長

村上一雄 Murakami Kazuo

1956年生まれ、兵庫県出身。1982年に愛媛大学医学部卒業。愛媛大学医学部附属病院、松山赤十字病院、国立循環器病センター、国立療養所南愛媛病院などを経て、2003年に第6内科部長として松山赤十字病院に再赴任。2008年より現職。

健診部／【医師】1名【看護師】5名【事務】11名

人間ドックで検査できること

コロナ禍という状況で、多くの方が健康について考える機会が増えていると思います。健康診断や人間ドックは、自分の体の状態を知る上で、大きな役割を果たすものです。松山赤十字病院の人間ドックでは、1日人間ドック（一般コース・生活習慣病コース）と2日人間ドックがあり、以下のような検査を行っています。1日、2日人間ドックとも身体計測・血圧・血液検査・尿検査・眼科検診や聴

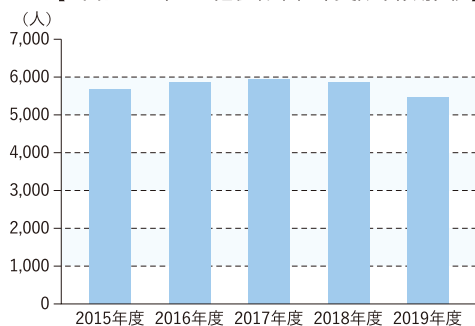
力検査、心電図・肺機能検査^{*1}・胃部X線検査・胸部X線検査・肝機能検査・腹部超音波^{*2}・腫瘍マーカー（生活習慣病コースは除く）・リウマチ検査・内科検診など。（※1・※2は生活習慣病コースのみ）2日ドックでは、これらに加え、糖負荷試験（糖尿病）・子宮頸がん検査、さらに栄養管理士による講義や健康に関する個別指導も行われます。その他のオプションとして、頸動脈超音波検査（動脈硬化）・腫瘍マーカー検査（ガン）・BNP検査（心不全）・胃がんリスク検診（ABC検診）・

内臓脂肪測定検査などがあり、より詳細な結果を得るため、最新の検査を取り入れています。2014年から、子宮がん検診ではヒト・パピローマウイルス検査（HPV検査）を導入し、子宮頸がんの早期発見に努めています。また、昨年よりPET-CTガン検診コースも開始し、従来のレントゲン検査などでは見つからないようながんも発見できるようになりました。

定期的な受診で 早期発見・早期治療を

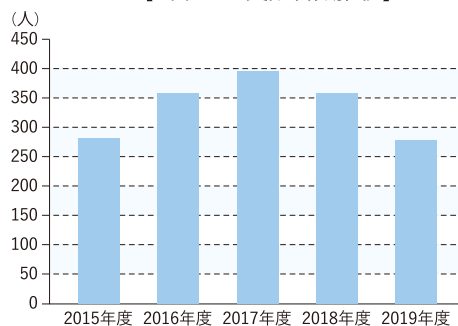
「急性期病院の中で、このような人間ドックを行っていることを不思議に思われる方もいらっしゃると思いますが、健診によって病気の早期発見・早期治療が可能となり、重症化を防ぐことができます。ひいては急性期の医療の負担を減らすことにもつながります。当院には専門医がたくさんおり、設備も整っていますので、人間ドックで異常が発見された時には、

【1日ドック(その他健診含む)受診者数推移】



2019年より胃内視鏡検査が一日10枠から5枠に変更されました。

【2日ドック受診者数推移】



続いて詳細な検査を受けることができます」(村上部長)

昨年の受診者は、特定健診なども合わせると約5,900人。松山市内に限らず、東予・南予、さらには県外から来られる方もいらっしゃいます。新規はもちろん、定期的に人間ドックを受けられる方が多いのが特徴です。高齢化に伴い、受診者の平均年齢も上がってきました。

病院スタッフは、人間ドック健康情報管理指導士の資格を取得し、部署内でも勉強会などを行うことで、受診者の健康増進に役立てています。

人間ドックは通常の医療と違い、予防に特化したものですので、自覚症状がないなど必要性を感じにくい方もいらっしゃると思います。しかし、健診によってがんや動脈硬化疾患などのリスクに気づくことができれば、生活習慣を改善し発症を防いだり、重症化を防ぐこととなります。また、医療費を抑えることにもつながります。

要治療者・要精査者の方の健康管理を継続するため、検査後は追跡調査としてかかりつけ医との連携も必要です。これらの調査に基づき、健診を客観的に評価し、危険因子と予後の経過を把握することで、日本全体のEBMに貢献できると考えています。*EBMとは、科学的根拠に基づく医療(通称・エビデンス)のこと。

「今後は、精密医療や先制医療の考え方を取り入れたり、個別化、遺伝情報(ゲノム)を利用した健診も増えてくるのではないのでしょうか。また、医療現場においてコロナ禍が収まった後も、現在のようなりモート化などの状況が続いていくことも考えられます。このように医療の形も今後変化していくと思います。そのような状況においても、健診部はスタッフ一丸となって、皆さまの健康を守るため、これからも努力を重ねてまいります」



カンファレンスの様子



患者会紹介: 志らさぎ会

志らさぎ会は、当院の故 桑島恵一名誉院長先生が立ち上げられた糖尿病患者さんの会です。糖尿病の療養には、食事運動、睡眠などの生活習慣がとても重要です。まずは正しい知識の習得が大切であり、療養の継続が合併症の予防には欠かせません。そこで、志らさぎ会では毎年11月の「全国糖尿病週間」に、志らさぎ会講演会・会食会を開催します。皆さんで楽しく正しい知識を得ていただき、食事療法を体験し、交流していただきます。今年はコロナ禍のため、講演会形式では無く、院内ポスター展示を予定しております。当院の糖尿病チームは多職種で構成され、公益社団法人 日本糖尿病協会 愛媛県支部(愛糖協)の友の会としても機能しています。

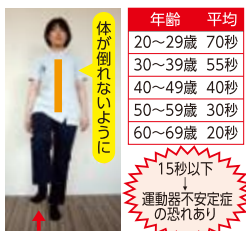
志らさぎ会は、糖尿病をもつ人と当院糖尿病チームが同じ志をもち、糖尿病があっても豊かな人生を送れるように願い、活動しています。



日本人の平均寿命は年々伸び続け、現在は男性81.41歳・女性87.45歳となっています。それに対し、健康寿命(元気に自立して生活を送れる期間)は男性72.14歳・女性74.79歳となっており、10歳前後の差があります。つまり健康上の問題で日常生活に制限がある期間が10年前後あるということになります。

健康寿命を短くする原因の一つに「転倒による骨折」があります。転倒を予防するためには、転ばない体を作ることが大切です。バランス感覚を鍛えることで、動作をスムーズに行え、転びそうになったときなどに体制を整えるなどの転倒予防や老化予防の効果が期待されます。そこで今回はどこでも気軽に行えるバランス練習をいくつか紹介します。

① 片足立ち



- 片足を軽く上げ、体が前後左右に倒れないように保ちましょう。
- 上の表は閉眼時の平均値のせています。まずは閉眼時に15秒以上を目標に行いましょう。

② かかと・つま先上げ



- ① 足を軽く開き、前に倒れないようにかかとをゆっくり上げて下ろします(つま先立ちの姿勢)。
 - ② 足を軽く開き、後ろに倒れないようにつま先をゆっくり上げて下ろします(かかと立ちの姿勢)。
- それぞれ10回行いましょう。

③ 前後のステップ



- ① 直立の状態から片足を前へ出します。
 - ② 重心を一度前足にのせて踏ん張ったあと、前足を下げて直立の状態に戻ります。
- 反対側も同様に、交互に10回行いましょう。

※ふらついて大丈夫なように、椅子を支えにしたり、壁の近くで行うようにしましょう。
※足・腰の痛みが増強するときは無理をせず、支えを持ったり、椅子に座ってできる運動から始めましょう。



俊野 昭彦 院長

医療法人 結和会 松山西病院

- 住 所：松山市富久町360-1
- 電 話：089-972-3355
- 休診日：木曜午後・土曜午後・日曜・祝日
- 診療科目：【医療】泌尿器科(人工透析)、内科、消化器内科、循環器内科、放射線科、リハビリテーション科 【介護】訪問看護ステーション、通所リハビリテーション



連携病院
松山西病院

このコーナーでは、患者さんが地域でより良い医療を受けられるよう、当院と連携・協力している医療機関をご紹介します。

また、地域の予防医療のニーズに対応するため各種健診や人間ドッグといった健診事業にも力を入れており、予防から治療までしっかりフォローできる体制を整えています。コロナ問題を含め医療を取り巻く環境はめまぐるしく変化し医療機関も対応力が問われる昨今ですが、変化に柔軟に対応できる体制整備を目指していきたいと考えています。

当院は松山市の南西部に位置し、入院ベッド102床（一般病床42床、医療療養病床60床）のほか、透析棟には個室3部屋を含む透析ベッド62床を備え、透析を中心とした医療を提供しています。「笑顔のあふれる病院」を理念として掲げ、地域の皆様や地域の医療体制に貢献できるよう職員一同が日々研鑽しながら取り組んでいます。

令和元年8月から訪問看護ステーションゆうわ、通所リハビリテーションゆうわを新たに立ち上げ、患者様や利用者様にとってより充実した生活環境づくりの支援を行ってまいります。

患者の皆様の権利

私たちは、患者の皆様の権利を尊重した医療の提供に努めます。

- 1 人権を尊重される権利**
一人の人間として、その人格、価値観などを尊重される権利があります。
- 2 プライバシーを保護される権利**
院内でのプライバシーが守られる権利、診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られる権利があります。
- 3 公平で最善の医療を受ける権利**
良質な医療を公平に受ける権利があります。
- 4 医療に関して知る権利**
診療に関して、理解しやすい言葉や方法で納得できるまで十分な説明と情報を受ける権利があります。また診療に関する情報について聞かない権利もあります。ご自分の診療記録(カルテ)の開示を求める権利があります。
- 5 医療行為について選択し決定する権利**
十分な説明と情報を受けたうえで、治療方法などを自らの意志で選択、または拒否する権利があります。この病院以外での診療を希望する権利、他施設の医師の意見を聞く権利があります。(セカンドオピニオン)

新病院部門紹介 〈エリア11〉



エリア11は、救急センターです。救急日は二次救急患者さんの対応を行い、平日は中央処置室業務(外来患者の採血や処置)と血管撮影・治療に分かれ、専門的な看護を実践しています。年間約5000台の救急車搬送患者さんは、超重症の方から「何で救急車で来たの?」と適正利用を疑う方まで様々です。また外来・入院患者さんのコードブルー要請には、いち早く駆けつけ手腕を発揮しています!

救急日や夜勤(救急センターは2交替勤務です)では、緊急検査・治療(血管撮影、内視鏡検査・治療など)の介助も実施しています。当部署には、救急看護認定看護師やINE(インターベンションエキスパートナース)、自己血輸血認定看護師が所属しており、質の高い専門的な看護を目指しています。また、今年度より救急部の医師が2名となり、研修医や看護師をはじめ、他職種と連携をとりながら、ワンチームで頑張っています。

赤十字活動資金へのご協力をお願いします。



赤十字のさまざまな人道支援活動を継続的に行うためには皆さまからの寄付が必要です。ご協力よろしくお願いします。
お問い合わせ先：日本赤十字社愛媛県支部(☎089-921-8603)

基本方針

- ① 最適で質の高い医療を提供し、患者に優しい病院を目指します。
- ② 多職種によるチーム医療を実践し、安全・安心な医療を提供します。
- ③ 地域の医療機関、保健・介護・福祉と連携を図り、急性期医療・専門医療を実践します。
- ④ 災害医療、国際救援活動の充実を図り、赤十字事業を推進します。
- ⑤ 将来を担う人材の確保と育成に努めます。
- ⑥ 一人ひとりが生き生きとし、働きがいのある病院を目指します。
- ⑦ 健全経営の維持に努めます。

1 血液疾患のオンラインによるセカンドオピニオン運用のご紹介



当院では株式会社メドレーが提供する「CLINICS」というオンライン診療専用のアプリを利用して、パソコンやスマートフォンを使ったセカンドオピニオンを行っています。

CLINICSを通じて事前に予約していただき、当院にお越しいただくことなく、患者さんのご都合の良い場所でセカンドオピニオンを受けていただくことができます。

※当院のセカンドオピニオンは『オンライン』と『来院による対面』の2つの方法を実施しています。

詳しくは、当院ホームページ地域医療連携サイトをご覧ください。

http://www.matsuyama.jrc.or.jp/tiiki_renkei/

★血液内科の専門医師によるセカンドオピニオン

●担当診療科と担当医

第一内科部長(副院長) 藤崎智明



2 10月は『ピンクリボン月間』です



当院では、毎年10月に、乳がんのことをもっと知ってもらおうと様々な取り組みを行っています。

当院薬局前ロビーと大街道献血ルームにパネル展示を、当院中庭は夜間ライトアップしていますので、ぜひご覧ください。

また今年も、乳がん検診やピンクリボンをテーマに「川柳コンテスト」を実施中です。みなさんのご応募をお待ちしています。詳しくは当院ホームページがん診療サイトをご覧ください。

<http://www.matsuyama.jrc.or.jp/cancer/>



（初診の診療受付）

受付時間…午前8時30分～午前11時

紹介状をお持ちください

よりスムーズに当院での検査や入院治療を受けていただくために「紹介状」をお持ちください。お持ちいただかない場合でも診療を受けられますが、その際診療料金の他に、初診の場合は5,500円(消費税込)、再診の場合は2,750円の「選定療養費」を別途お支払いいただくこととなります。

紹介状のある患者さんに係る診療受付時間

午後3時まで受付可能な診療科											
内科	月	火	水	木	金	眼科	月	火	水	木	金
肝胆膵センター	月	火	水	木	金	血管外科	月	火	水	木	金
消化器内科	月	火	水	木	金	放射線治療科	月	火	水	木	金
小児科	月	火	水	木	金	脳神経外科	月	火	水	木	金
放射線診断科	月	火	水	木	金	呼吸器外科	火	水	木	金	
腎臓内科	月	火	水	木	金	小児外科	火	水	木	金	
循環器内科	月	火	水	木	金	心臓血管外科	月	火	水	木	金
外科	月	火	水	木	金						
午前11時までの診療科											
産婦人科	月	火	水	木	金	脳神経内科	月	火	水	木	金
耳鼻咽喉科	月	火	水	木	金	(その日の診療時間表を参照)					
リウマチ科	月	火	水	木	金	形成外科	月	火	水	木	金
呼吸器内科	月	火	水	木	金	乳腺外科	火	水	木	金	
整形外科	月	火	水	木	金	麻酔科	月	火	水	木	金
泌尿器科	月	火	水	木	金	歯科口腔外科	月	火	水	木	金
皮膚科	月	火	水	木	金						

注) いずれの診療科も緊急を要し、患者支援センターを通じた患者さんに限ります。緊急を要しない患者さんの受付は従来通り午前11時までとなります。

■ 小児科・産婦人科のみ電話による予約制(初診の場合)

予約受付時間…午後2時～4時(時間厳守願います)

☎089-924-1111

（休診日のお知らせ）

休診日…土曜・日曜・祝日

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

12月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

1月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

■ のついた日は休診日です。

松山赤十字病院公式 **facebook** 公開中!

ぜひ「いいね!」をよろしくお願いします。

松山赤十字病院 フェイスブック

検索



外来診療担当医表

再診…全診療科予約制です

		月	火	水	木	金
●内科						
総合内科		吉田	八島(山本)	鈴木(土居)	杉原(上田)	岡田
糖尿病 内分泌	1診	岡田	近藤	近藤	近藤	吉田
	2診	山本	土居	岡田	山本	山本
高血圧		土居	福岡	福岡	土居	福岡
血液		藤崎・上田 浦田	上田・坂本 松原	藤崎・上田 徳山	藤崎・浦田 松原	徳山・坂本 杉原(藤崎)
糖尿病教室		毎週水曜日10:00~12:00(糖尿病チーム)				
●肝胆膵センター						
午 前		上甲・眞柴 畔元・越智	上甲・横田 越智	畔元・越智 天野	横田・眞柴 盛田	上甲・横田 眞柴
午 後		天野	上甲 越智	畔元 天野	眞柴 盛田	上甲 横田・眞柴
●胃腸センター(消化器内科)						
外来部門	新患兼院外紹介 再診予約兼院外紹介	午前	蔵原	浦岡	池上	蔵原
	新患兼予約	午後	清森	蔵原	原	池上
	炎症性腸疾患		村田	井本	八坂・村田	原
検査部門	午 前	上部消化管内視鏡およびX線造影検査				
	午 後	小腸大腸内視鏡検査および内視鏡治療				
●循環器センター						
循環器内科	新患・再診	堀本	古川	盛重	松坂	中城
	予約	午前	—	盛重	—	堀本
	午後	—	—	—	—	松坂
心 外	午前	藤本	—	梅末	—	—
※水曜日は9:30から診察いたします。						
●呼吸器センター						
呼吸器内科	予 約	牧野・梶原・廣瀬	兼松	牧野・兼定	梶原	兼松
	新患(外来)	兼定	廣瀬・上田	兼松	牧野	梶原
	新患(入院)	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
呼 吸 器 外 科		—	吉田・桂	—	竹之山・桂	竹之山・吉田
検 査 ・ 手 術		手術	気管支ファイバー	手術	気管支ファイバー(肺)	気管支ファイバー
●腎臓内科						
初 再 診		上村・岩本(昂)	上村・平島	手術日	上村・岡	岡・近藤
CAPD外来	1・3・5週	—	岩本(早)	—	近藤	上村
	2・4週	—	岡	—	平島	岩本(昂)
●脳卒中・脳神経センター						
脳神経内科	午前	池添・藤下	池添・原	池添・藤下	池添	池添・原
	午後	—	もの忘れ外来	もの忘れ外来	—	—
※もの忘れ外来:完全予約制(1日1名)、紹介状をお持ちの患者さんのみ診察いたします。						
※木曜日は1診のため、なるべく紹介はお控えください。						
脳 神 経 外 科		梶原・三好	武智・渡邊	手術	梶原・三好	武智・渡邊
※水曜日は手術日につき担当医での診察になります。						
●小児科						
午 前		高岩・飯尾	近藤・平岡	鈴木・相原 西崎	高岩・藤本 飯尾(ワロアツ)	近藤・相原
ア レ ル ギ ー	午前	—	—	片岡	—	片岡PM
神 経	午前	眞庭	眞庭	中野	眞庭	中野
	午後	担当医(第1・3) (循環器)	米澤(血液)	上田(漢方)	上田(内分泌)	米澤(血液)
●産婦人科						
産 科	9:00~	中島・梶原	猿渡・本田	片山・山口	高杉・梶原	中島・片山
婦 人 科	12:00	高杉・山口	片山・梶原	高杉・本田	中島・猿渡	横山・山口
※水曜日は10:30から診察いたします。						
産 科 ・ 婦 人 科	午後	—	—	—	—	横山
午 前 / 午 後		手術	手術	午後/手術	手術	手術
午 後		ハローママ外来	ハローママ外来	ハローママ外来	ハローママ外来	ハローママ外来
●外科						
午 前		谷口	皆川(肝)・雷野(肝)	南・泉(肝) ストーマ外来	西崎(肝)・梶原	廣瀬
午 後		—	ストーマ外来	—	—	—
		—	—	—	緩和ケア外来	—

		月	火	水	木	金
●乳腺外科						
午 前		川口(再診)	川口(AM・PM)	西村(AM・PM)	—	川口
●血管外科						
		山岡(再診) 本間(新患)	—	—	山岡(新患) 本間(PM再診)	—
		松田(AM手術) 松田(PM再診)	—	—	松田(新患)	—
●臨床腫瘍科						
午 前		白石	白石	白石	白石	白石
午 後		第4がんゲノム 医療外来(山本)	白石 (予約新患のみ)	白石 (新患)14:00~	—	白石 (新患)14:00~
●小児外科						
午 後		—	野口	—	—	—
●整形外科						
		中城(股) 大前(肩) 宮崎	野田(脊) 志摩(脊) 江口(膝)	梶原(手・肘) 大前(肩) 江口(膝) 中山	中城(股) 志摩(脊) 大島(股) 中條	野田(脊) 梶原(手・肘) 大島(股)
※(手)手の外科、(肘)肘関節外科、(脊)脊椎外科、(膝)膝関節外科、(肩)肩関節外科、(股)股関節外科						
●リハビリテーション科						
		田口(スポーツ外来)	田口(スポーツ外来)	田口(スポーツ外来)	田口(スポーツ外来)	田口(スポーツ外来)
●リウマチ膠原病センター						
リウマチ科		水木	手術	水木	水木	—
内 科		押領司・三嶋	押領司・三嶋	押領司・山崎	三嶋・今林	今林・堀江・平岡
●泌尿器科						
午 前		(担当医)	田丁・矢野 浅井・郷久	田丁・矢野 浅井・郷久	田丁	田丁
午 後		—	予約検査	予約検査	—	第13ストーマ外来
※月・木・金曜日は手術日につき、上記の診療担当医が変更することがあります。						
●耳鼻咽喉科						
午 前		篠森・浅山・田中	上田・浅山・田中	担当医・有友	篠森・上田・田中	担当医・有友
午 後		—	—	手術	—	手術
午 後		—	視聴器(篠森)	手術	検査(透視)	手術
※水・金曜日は手術日につき、予約の患者さん及び紹介状をお持ちの初診の患者さんのみ診察いたします。						
※火曜日の補聴器専門外来は予約制です。連携施設(耳鼻科)からの紹介患者さんに限ります。						
●眼科						
午 前		児玉・小川 北畑	鳥山 野田	上甲・野田 北畑	上甲・小川 依光	児玉・野田 鳥山
午 後		児玉・小川 北畑	鳥山 野田	上甲 北畑	上甲 小川	鳥山
※当面の間、新患は紹介状をお持ちの方のみ診察いたします。						
●皮膚科						
		南	南	岩坂	南	南
●形成外科						
		庄野・阿古目	庄野・阿古目	庄野・阿古目	庄野・阿古目	手術
※金曜日は手術日につき外来診療はありません。						
●麻酔科						
		安部	—	安部(午前)・伊東	—	安部・彭
●心療内科・精神科						
※当面の間、外来診療については休診いたします。						
●放射線診断科						
新 患		菊池	菊池	菊池	菊池	菊池
予 約		松田	松田	松田	松田	松田
●放射線治療科						
放 射 線 治 療		浦島	—	浦島	—	浦島
●歯科口腔外科						
口 腔 外 科		寺門	寺門	—	寺門	寺門
歯 科		兵頭	兵頭	兵頭	兵頭	兵頭
歯 科 ・ 口 腔 外 科		岩本	岩本	—	岩本	岩本
※紹介状をお持ちの患者さんのみ診察いたします。						
※水曜日は手術日につき初診の診療はありません。						

※担当医は都合により変更になる場合がございますのでご了承ください。(令和2年10月1日現在)

編集・発行 令和2年10月1日発行

松山赤十字病院

〒790-8524 愛媛県松山市文京町1番地 TEL 089-924-1111(代) FAX 089-922-6892



松山赤十字病院
ホームページ



松山赤十字病院
携帯サイト



松山赤十字病院
公式facebook